

研究機関：広島大学

研究課題名	コルチコステロイド使用患者における大腿骨頭壊死症の発症に関する疫学研究
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山 英二
研究期間	2017年 2月(倫理委員会承認後)～2019年 3月
対象者	2009年1月より2018年3月の間、広島大学病院リウマチ膠原病科を受診した成人のステロイド使用患者で、大腿骨頭壊死症を発症した患者。
意義・目的	骨頭壊死は骨の虚血と骨細胞の死によっておこるとされますが、特に大腿骨頭壊死症はコルチコステロイドの使用が最も大きな原因と言われていています。 しかし、本邦においてコルチコステロイドを要する原疾患、その使用量と大腿骨頭壊死症の有害事象に関する検討については未だ十分な情報の蓄積がありません。本研究によって、その有害事象の発生を検討し今後の診療に役立つ可能性があります。患者情報をできるだけ多く集めて、コルチコステロイド使用患者の有害事象発生防止に貢献したいと考え、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、治療内容、臨床症状、血液検査値(白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、血小板数、総蛋白、アルブミン、Cre、BUN、AST、ALT、ALP、LDH、IgG、IgM、IgA、CRP、血沈、HLA)、画像検査(X線、CT、MRI、骨シンチ、PET-CT)、治療法、転帰です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5539 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 教授 杉山 英二 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 助教 吉田 雄介